

欧州環境インサイト ニュースメール

EBSニュースメール2011年4月号

「欧州環境インサイト」ニュースメール2011年4月号をお送り申し上げます。皆様のビジネスにとって何らかのお役に立てれば幸いに存じます。

----- ヘッドライン -----

- [【太陽光:ドイツ】グーグル、ドイツの太陽光発電に350万ユーロ投資](#)
- [【風力:英国】SSE、風力発電所3施設をインフィニスに売却](#)
- [【再生可能エネルギー:フランス】EDF、再生可能エネ事業を完全子会社へ](#)
- [【再生可能エネルギー:欧州】EUの再生可能エネルギー比率、2009年までの10年間でほぼ倍増](#)
- [【投資:欧州】ドイツが欧州トップ、英は大幅減、2010年の再生可能エネルギー投資額](#)
- [【排出権取引:欧州】欧州鉄鋼連盟、排出権取引制度で欧州委を提訴へ](#)
- [【排出量:英国】英国の温暖化ガス排出量、昨年は2.8%増](#)
- [【政策:フランス】フランス、パリなど8都市を低排出地区に指定](#)
- [【政策:ドイツ】ドイツ政府、CCS実現に向けた法案採択](#)
- [【政策:英国】スマートメーターの大量設置、英国で2014年にスタート](#)

--- ニュース -----

【太陽光:ドイツ】グーグル、ドイツの太陽光発電に350万ユーロ投資

米検索エンジン大手グーグルは4月7日、ドイツの太陽光発電事業に350万ユーロを投資することを明らかにした。対象はベルリン郊外に最近完成した容量18.7MWの発電施設で、ドイツの投資会社であるキャピタル・ステージと共同で投資する。グーグルはカリフォルニア州に建設中の世界最大の太陽熱発電プロジェクトに参画するなど近年、再生可能エネルギー分野に積極的に取り組んでいる。欧州での投資案件は初めて。

ニュースリリース: <http://googlepolicyeurope.blogspot.com/2011/04/google-to-invest-in-german-solar-power.html>

【風力:英国】SSE、風力発電所3施設をインフィニスに売却

英電力大手のスコティッシュ・アンド・サザン・エナジー(SSE)は4月15日、3カ所の風力発電施設(合計容量96.8MW)を英発電事業者のインフィニスに売却したと発表した。対象はスコットランドにあるDalswinton(30MW)とMinsca(36.8MW)および北アイルランドのSlieve Divena(30MW)で、売却額は1億7,360万ポンド。風力発電事業資産の見直しの一環。

ニュースリリース: <http://www.sse.com/PressReleases2011/DisposalWindFarmCapacity/>

【再生可能エネルギー:フランス】EDF、再生可能エネ事業を完全子会社へ

フランス電力公社(EDF)は4月8日、現在50%を出資する再生可能エネルギー事業子会社EDFエネルギー・ヌーベルを完全子会社化すると発表した。残り50%を既存大株主や市場から買い取る。EDFは2000年に同子会社の前身企業に出資し、2006年に株式上場させた。欧州

のみならず北米やアジアで風力を中心とする再生可能エネルギー事業を手がける。完全子会社化により成長性の高い同事業を強化する目的。スペインの電力大手イベルドロラも3月、再生可能エネルギー子会社を吸収する方針を発表している。

ニュースリリース：<http://shareholders-and-investors.edf.com/news-and-publications-83799.html>

【再生可能エネルギー：欧州】

EUの再生可能エネルギー比率、2009年までの10年間でほぼ倍増

欧州連合(EU)統計局が4月11日に発表した統計によれば、EUの国内エネルギー消費量(国内生産に純輸入や在庫変動を加えた数値)に占める再生可能エネルギーの比率は2009年に9.0%となり1999年の5.4%から2倍近くに上昇した。同期間に石油、石炭、原子力の比率は低下し、再生可能エネルギーと天然ガスが上昇した。2009年に再生可能エネルギーの比率が高かったのは水力発電の盛んなラトビア(36.2%)やスウェーデン(34.4%)など。主要国ではドイツ8.5%、英国3.0%、フランス7.5%、イタリア9.5%、スペイン9.3%などだった。

ニュースリリース：http://epp.eurostat.ec.europa.eu/cache/ITY_PUBLIC/8-11042011-AP/EN/8-11042011-AP-EN.PDF

【投資：欧州】ドイツが欧州トップ、英は大幅減、2010年の再生可能エネルギー投資額

昨年の再生可能エネルギー投資額で、ドイツが前年比倍増し欧州トップを維持したことが米環境NGOのピュー環境グループがまとめた報告書で明らかになった。ドイツの投資額は太陽光発電を中心に412億に達し、世界でも中国に次いで2位だった。イタリアも太陽光や風力が伸びて同124%増の139億ドルで世界4位、続いてスペインは8位、フランスは9位だった。一方、英国は33億ドルと前年比70%大きく減少、昨年の5位から13位に後退した。政権交代に伴う政策の不透明性により、洋上風力発電への投資が落ち込んだのが響いた。

ニュースリリース：<http://www.pewenvironment.org/news-room/other-resources/investing-in-clean-power-329295>

【排出権取引：欧州】欧州鉄鋼連盟、排出権取引制度で欧州委を提訴へ

鉄鋼メーカーの業界団体である欧州鉄鋼連盟は4月4日、欧州排出権取引制度(EU-ETS)に関して、欧州委員会が次期制度の詳細を定めた規則を現行案のまま決定した場合には欧州委を提訴する方針を明らかにした。2013年から始まる次期ETSでは、排出枠のオークション売却が原則だが、鉄鋼を含め一部産業については無償配布が継続されることが欧州指令で定められている。しかし欧州鉄連によれば、現行の規則では生産効率の高い一部の製鉄所向けは有償になる場合があり指令に反すると主張している。

ニュースリリース：<http://www.eurofer.org/index.php/eng/News-Publications/Press-Releases/EUROFER-Initiates-legal-action-against-the-Commission-benchmarks-for-steel>

【排出量：英国】英国の温暖化ガス排出量、昨年は2.8%増

英エネルギー・気候変動省は3月31日、昨年の温暖化ガス排出量は5億8,240万トンで前年比2.8%増加したと発表した。前年比増加したのは2003年以来7年ぶりだが、2009年は経済危機の影響で8.7%減と大きく落ち込んだ反動が大きい。長期的にはなだらかな減少傾向が続いている。排出部門別に見ると家庭部門が同13%と大きく増加した。例年より寒かった冬の影響で暖房用のガス消費量が増加した。発電部門は一部電源が原子力から化石燃料に切り替えられた影響で3.2%、産業部門は2.4%それぞれ増加した。一方、運輸部門はわずかながら減少した。

ニュースリリース：

http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn11_033/pn11_033.aspx

【政策：フランス】フランス、パリなど8都市を低排出地区に指定

政府は4月6日、パリなど8都市を低排出地区に指定し大気汚染改善の試験を実施すると発表した。大気汚染物質排出量の多い車両の乗り入れを禁止するなどの措置を導入し、3年

間かけて効果を確かめる。パリに加え、ポルドー、リヨン、グルノーブルなどの大都市で実施する。都心への一部車両の進入を禁止する低排出地区は既に欧州各国で取り入れられており、ストックホルムやベルリンで効果が報告されている。

ニュースリリース:

http://www.developpement-durable.gouv.fr/spip.php?page=article&id_article=22169

【政策:ドイツ】ドイツ政府、CCS実現に向けた法案採択

政府は4月13日の閣議で、二酸化炭素を地中に半永久的に貯蔵する炭素回収・貯留(CCS)実施に関する法案を採択した。今後、議会で審議される。CCSを実施してもよい地域とそうでない地域を州政府が決定できることが柱。また、実証施設の申請は2016年に締め切り、施設当たりの貯留量は年間300万トンまで、ドイツ全体で800万トンまでとすることも盛り込んだ。法律は欧州連合(EU)が実施するCCS実証支援制度適用の前提となる。

ニュースリリース: http://www.bmu.de/english/current_press_releases/pm/47275.php

【政策:英国】スマートメーターの大量設置、英国で2014年にスタート

英エネルギー・気候変動省は3月30日、家庭や事業所を対象としたスマートメーターの設置を2014年に始めると発表した。2019年までに全国3,000万の家庭および事業所に合計5,300万台のスマートメーターを据え付ける。現在から2014年までの期間に、政府は関連する産業界や消費者団体と協議し、大量設置に向けた計画を策定する。政府は再生可能エネルギーの本格導入と経済の低炭素化にはスマートメーターが不可欠として、全ての家庭と事業所に導入する政策を明らかにしていた。

ニュースリリース: http://www.decc.gov.uk/en/content/cms/news/pn11_032/pn11_032.aspx

◆◆「EBS産業レポート」最新版 発売中◆◆-----

◎1「欧州の先進環境100社——最新市場動向と注目企業の横顔」 113頁

主な内容

- 欧州の先進環境企業100社の戦略と最新動向
- 欧州環境市場規模の推移
- 太陽光発電市場の2009年実績と今後の成長見通し
- 風力発電市場の2009年実績と成長見通し
- 分野別の成長予測
- 洋上風力、太陽熱、波力・潮力発電の動向

◎2「欧州自動車産業の最新動向 2010-11年版——EUのエコカー戦略」 110頁

主な内容

- エコカーに対するEUの開発支援戦略
- EUと主要国の自動車関連環境政策—CO2排出規制の概要など
- 欧州のエコカー市場の現状と見通し
- 欧州の大手乗用車メーカーのエコカー戦略
- 主要乗用車メーカーの過去1年間の展開と今後の見通し
- メーカー別の欧州の乗用車・商用車販売統計
- ロシアの自動車販売動向
- 主要自動車メーカーの欧州・ロシアの生産施設立地

◎3「これだけは知っておきたいEUの環境規制 2010-11年版 108頁

主な内容

- EU2020年戦略における環境・気候変動政策のビジョン
- エコデザイン指令～新ErP(エネルギー関連製品)指令
- WEEE/RoHS指令および廃車指令の概要と改正の動向
- REACHの基本と実施状況
- 2020年とそれ以降に向けた温室効果ガス排出削減の目標と議論の動向

- 再生可能エネルギー促進指令
- 建物エネルギー性能指令
- 今後のEU排出権取引の制度詳細 ほか

価格：PDF版 395ポンド／485ユーロ／53,000円(全税別)
(ハードコピー+PDF版：480ポンド／590ユーロ／65,000円(全税別))

レポートの詳細に関しましてはこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/report/index.htm>

◇◆当ニュースメール配信サービス希望者募集中！◆◇-----

- 当配信サービスは無料です。どなたでもホームページからご登録いただけます。
 - 配信頻度は基本的に毎月ですが、都合により不定期になることをあらかじめご了承下さい。
 - 本サービスは弊社の都合により休止することがあります。
- ご登録はこちら⇒ <http://www.ebsukltd.com/newsletter/>

◇◆当サービスのご利用に当たって◆◇-----

- ★登録内容の変更や配信停止はお手数ですが下記からお願い致します。
<http://www.ebsukltd.com/newsletter/>
- ★ニュースメールに関するお問い合わせ、その他ご利用に際してのご不明点は下記へご連絡下さい。
news@ebsukltd.com

発信元◇EBS(UK)Ltd.
1 Heathcock Court, 415 Strand, London WC2R 0NT, UNITED KINGDOM
ウェブ: <http://www.ebsukltd.com/> メール: news@ebsukltd.com

Copyright(C) EBS(UK)Ltd. 2011 掲載記事の無断転載を禁じます。
